

感染性疾患

(Infectious disease)

【責任者/担当者】

〔感染制御学〕 中嶋 一彦 准教授

【担当者】

〔感染制御部〕 中嶋 一彦 准教授

【目的】

- ・感染性疾患の医学的問題を正しく捉え、総合的に解決するための基本的知識・能力を習得する。
- ・主な感染症の原因となる病原体を分類でき、その特徴、疫学、伝播形式を理解・把握する。
- ・院内感染症を理解し、その予防対策を習得する。
- ・病原体により惹起される代表的疾患を理解し、その治療法を習得する。

【科目キーワード】

「感染対策 (Infection control)」「感染予防 (Infection prevention)」「耐性菌 (Antimicrobial resistant organisms)」「感染症治療 (Infection treatment)」「感染症検査 (Examination for Infectious Diseases)」

【到達目標(アウトカム)】

- ☐ 病原体に対する生体の反応を説明できる。
- ☐ 敗血症の症候、診断、治療を概説できる。
- ☐ 細菌感染症をグラム陽性菌、陰性菌に分け概説できる。
- ☐ 真菌感染症を概説できる。
- ☐ ウイルス性感染症を概説できる。
- ☐ 原虫・寄生虫症を概説できる。
- ☐ 抗菌薬の適正使用を述べることができる。
- ☐ 院内感染対策について概説できる。
- ☐ 呼吸器感染症、腹腔内感染症を概説できる。
- ☐ グラム染色の評価ができる。
- ☐ 各臓器別の感染症に病態と治療を概説できる。
- ☐ 新興・再興感染症を概説できる。

【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・安心・安全な医療に強い使命感と自律性を有し、優れた協調精神を持ってチーム医療の一員として社会の福祉に奉仕できる良医となるべき素養を有している。
- ・医療を取り巻く社会経済的動向を把握し、地域医療の向上に貢献するとともに、地域の保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力できる。
- ・人文社会科学を含む幅の広い教養と国際性を身につけ、海外からの情報を積極的に利用できる語学力を有し、国際保健に貢献できる。
- ・人体や疾病に影響を与える社会的な要因や背景について理解し、支援扶助の社会的仕組みについて理解している。
- ・患者およびその家族の人権を守り、医師の義務や医療倫理を遵守するとともに、患者の安全を最優先し、患者の権利と生命の尊厳を守ることができる。
- ・医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲と生涯にわたり自己研鑽を続ける態度を有し、同僚・後輩への教育に労を惜しまない。
- ・患者の持つ様々な問題点を科学的かつ統合的に捉え、的確に判断し解決できる応用力と問題解決能力を有している。
- ・基本的な診察法、医療技術、救命救急法を修得しており、全身を総合的に診療するための実践的能力、ならびに医療安全と危機管理の能力を有している。
- ・人体の構造、機能および異常や疾病とそれらの原因、病態、診断、治療に関する基本的な知識ならびに様々な疾病に対する適切な治療法を身につけている。

【概要ならびに履修方法】

講義では感染症の診断、感染症治療の考え方を習得する。また、感染症予防について具体的な方法の習得を行う。

実習では急性期医療センター3 階 ICU 前に集合し ICU でのカンファレンスに参加。その他抗菌薬、感染症に関するレクチャーの後、病棟ラウンドで感染症治療・制御の実際を習得する。

【準備学修ならびにそれに要する時間】

前日までに該当する部分の講義冊子を、1 時間程度目を通すこと。

【成績の評価方法・基準】

講義: 講義担当者に応じた点数配分による試験(筆記): 100%

実習: 実習日は 1 日であるため実習への出席は必須。

レポート: 60%、レクチャーの時間での質問への回答による理解度: 40%

レクチャー・実習中の態度、積極性を加味する。

【学生への助言】

実習におけるレポートは感染性疾患の病態や適切な治療方法などの理解に努める内容を目指すこと

【フィードバック方針】

試験について解説講義を行う

【オフィスアワー】

特になし

【受講のルール、注意事項、その他】

特になし

【教科書】

「Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases (9th ed)」

John E. Bennett、他 編 (Elsevier) 2019 年

【参考書】

「感染症治療のエッセンス&ピットフォール」竹末芳生 総監修(じほう) 2018 年

「術後ケアとドレーン管理のすべて」竹末芳生、藤野智子 編(照林社) 2016 年

【連絡先】

1 号館 5 階 感染制御部 (0798-45-6689)